

## これからの活動予定

### 第11回川づくりフォーラム

日時：2月16日(日) 13時～16時  
 場所：守山市コミュニティ防災センター  
 定員：80名  
 内容：琵琶湖・赤野井湾に繁茂する外来植物「オオバナミズキンバイ」への取り組みと2013年度の活動発表など



活動発表をする参加者(昨年)

### 第5回赤野井湾・小津袋グリーン大作戦

～とりもどそう美しい琵琶湖～

日時：3月1日(土) 9時～11時30分  
 場所：赤野井湾湖岸一帯・小津袋  
 内容：小津袋一帯のゴミ拾いとオオバナミズキンバイ除去作業



湖岸の清掃活動の様子(昨年)

### 水辺の楽校春編

～目田川で春をさがそう!～

日時：3月21日(金・祝) 9時～13時30分  
 場所：目田川河川公園  
 内容：早春の川辺で春さがし  
 参加費：中学生以上500円  
 小学生200円・幼児 無料  
 募集人数：親子先着50名



どんな春が見つかるかな?(昨年の様子)

### 水生生物調査

日時：3月29日(土)  
 場所：豊穰の郷集合  
 内容：水辺の生き物を採取し、拡大顕微鏡でのモニターを見ながら観察します。  
 参加費：200円



水生生物調査風景(昨年)

## やった!! 認定NPO PST 相対値基準、絶対値基準をクリア!

認定NPOをめざしてPST(パブリック・サポート・テスト)をクリアするために、当NPO法人では、100人以上に3,000円の寄付を頂くか、賛助会員になって頂くかの活動を進めてまいりました。

その結果、12月24日現在108名の賛助者が集まり絶対値基準をクリアすることが出来ました。今後、この勢いをバネに2014年度から認定を受けられることを目指し、県民生活課のアドバイスをうけながら、申請に向けての作業にかかりたいと思います。ここに至りましたのも、理事をはじめ、ご協力をいただきました皆さまのお陰です。本当にありがとうございました。

### 訃報

9月8日 中村 一雄さん(理事)

11月28日 寺田 順一郎さん(初代会長)

お二人とも、当法人のためにご尽力くださり、当法人にとって無くてはならない方々でした。心より、ご冥福をお祈り致します。

### メールアドレスが変わりました

当NPO法人の代表メールアドレスがサーバー移転に伴い変更になりました。新しいアドレスは

houjyounosato@lake-biwa.net

です。たいへんご不便をおかけしますがどうぞよろしくお祈り致します。

### じみのひとりごと

「他力本願」という言葉があります。そして、この言葉にあまりよいイメージを持たれていない方もいるかも知れません。以前の私もそうでした。この言葉を「人頼み」「自分は何もしないで」といった意味でとらえていました。

ところが、親鸞聖人が書かれた本を読む機会があり「他力本願」のイメージが自分の中でひっくり返りました。それ以来、私はこの「他力本願」という言葉が好きになりました。

この言葉をわかりやすく言えば「自力」つまり、自分一人でも何とかしよう、自分だけでもうまくできると慢心するのではなく、自分が努力することはもちろん、まわりの人とのご縁や、もっと大きな見えない何か(仏教では仏さま)にすべてを「ゆだねた」ときに、はじめて幸せになれるという意味になります。

これからも、他から「守られる・助けられる」力……「他力」つまり他から助けてもらう力に感謝する。

T・H

## 謹賀新年 お健やかに新春をお迎えのことと存じます。 本年も変わらぬご芳情の程、お願い申し上げます

役員一同

### 水辺の楽校(秋編)

2013年12月7日土曜日に水辺の楽校秋編を、市民運動公園内ほたるの森周辺にて実施しました。スタッフもあわせると約60人の参加者となり、リース作りや森の探検、そしてプチランチを楽しみました。今年、時期が12月に入りクリスマスシーズンということもあり、直径が2mちかくもある巨大リース作りに挑戦しました。初めての試みのために、当日に向けて、何回もの試作や事前準備を行いました。みんなで森を探検して集めた木の実や落ち葉などを飾り付け、ほとんど自然の素材でできた大きなリースに、参加した親子から歓声があがりました。まだまだ反省点や改善すべき課題はのこりましたが、巨大リースという新たな試みはおもしろかったと思います。



巨大リースの前で記念写真

## 侵略生物(オオバナミズキンバイ)から琵琶湖を守ろう!

### 第2回オオバナミズキンバイ除去大作戦

12月22日(日)第2回オオバナミズキンバイ除去大作戦を実施しました。地元自治会や、漁協の他、大学生ボランティアの団体(IVUSA)、ボーイスカウト、立命館守山高校など、およそ150名もの多くの皆さんがご参加くださいました。

また、テレビや新聞などからの取材もあり、当法人が目標とする、国や県に対する本活動のアピールという点でも、手応えを実感することができました。



船上からの除去作業

いよいよ国も「オオバナミズキンバイ」を特定外来生物指定にむけての調査機関を設けるなど、成果も現れてきました。

ときおり小雨の舞う寒い日でしたが、今回は若者の参加が多く、きつい作業の中でも元気な声飛び交う終始にぎやかな活動となり、作業後には、スタッフが用意したシチューや豚汁に舌鼓を打ちながら、参加者同士で交流する姿も見られました。

おかげで刈取面積60㎡、およそ7tの除去を行うことができました。ご参加下さった皆さま、お疲れさまでした。ありがとうございました。



オオバナミズキンバイの陸揚げ作業

この事業は、夏原グラントの助成を受けて行うものです